

学校ホームページ用原稿

平成31年度（令和元年度）
佐賀県学習状況調査並びに全国学力・学習状況調査の分析結果と今後の対応について

小城市立三里小学校

4月に実施された全国学力・学習状況調査（6年国語・算数）、佐賀県学習状況調査（5年国語・算数）の本校全体の結果をまとめました。

また、生活習慣に関する意識調査について、数値が高かった項目と低かった項目を挙げ、分析と今後の取り組みをまとめました。

【全体の正答率について】

5年	国語科	：全体の正答率は、県の平均を	上回っています。
5年	算数科	：全体の正答率は、県の平均を	上回っています。
6年	国語科	：全体の正答率は、県の平均を	上回っています。
6年	算数科	：全体の正答率は、県の平均を	上回っています。

【経年比較について】

5年	国語科	：昨年度12月と比較すると、正答率はやや上回っています。
5年	算数科	：昨年度12月と比較すると、ほぼ同程度でした。
6年	国語科	：昨年度12月と比較すると、正答率は上回っています。
6年	算数科	：昨年度12月と比較すると、正答率は上回っています。

以上のことから、5年生、6年生ともに少しずつ力を伸ばしてきていることが分かりました。また、5年生においては、主に算数科の学力を向上させる必要があることが分かりました。

本校では、夏季休業中に校内研修を行って、今回の結果を詳しく分析しました。その分析をもとにしながら、全職員で具体的な手立てや工夫について話し合い、共通して取り組むことを決めています。決定事項に基づき、今後の授業や家庭学習に関する指導、特設学習時間の改善を図ります。

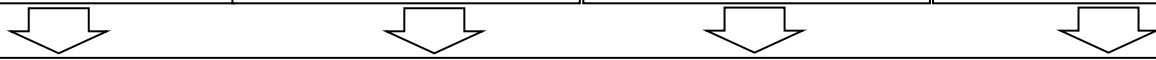
保護者の皆様には、これからも本校の取り組みにご協力いただきますようお願いいたします。

国語の全体概要

国語全体の正答率は、県正答率を上回る結果が得られました。観点別では、「話すこと・聞くこと」「言語事項」で上回り、「書くこと」「読むこと」では県平均を大きく下回りました。

国語の分析結果と本校の課題について

話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項
<p>○話し合いの場面を提示し、司会の役割を考える設問で県平均を上回りました。</p> <p>●自分の考えと比較しながら友達の見解を聞く大切さについて理解不足がみられました。</p>	<p>○メモをもとに条件に合わせて文章を書く設問で県平均をやや上回りました。</p> <p>●新聞記事の内容に合うように見出しを書く設問でやや下回りました。無解答の児童もいたため、十分理解させるような手立てが必要です。</p>	<p>●叙述をもとに登場人物の気持ちをとらえる設問や行動をとらえる設問で県平均を下回りました。</p> <p>●問いの答えや筆者の考えを文章から抜き出す設問で、県平均を下回りました。長文の内容を正しく読み取ることについて課題が見られました。</p>	<p>○漢字を正しく読むこと、書くことが求められた設問やローマ字での読み書きを問う問題で県平均をやや上回りました。</p> <p>●文中における主語を捉える問題においては、やや理解不足の状況が見られました。</p>



今後の対応

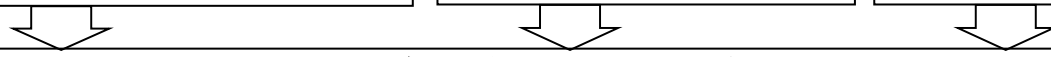
- ・この結果を踏まえて、朝の「国語タイム」や「みさとタイム」で理解が不十分であった内容の補充学習を行います。個に応じた細やかな手立てを考え、粘り強く学びに向かうことができるようにし、無解答をなくします。
- ・「読むこと」「書くこと」の向上のために、物語文や説明文の形式や表現方法を理解させ、問題文や本文中の大事な部分に印を入れながら、答えを導くように練習させます。また、本文からの書き抜きや選択等の、様々な問いの形式に対応する技能も、授業の中で高めていきます。

算数の全体概要

算数全体の正答率は県平均を上回る結果が得られました。評価の観点別では、「考え方」「技能」の正答率が県平均を大きく上回り、「知識・理解」の正答率は、県平均を下回りました。

算数の分析結果と本校の課題について

数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解
<p>○示された条件や情報をもとに具体的な根拠を挙げながら説明したり、複合図形の面積を求めたりする設問で県平均を上回りました。</p> <p>●示された情報をもとに、いくつかの計算を組み合わせて答えを導き出す設問では、多くの誤答が見られました。答えを確かめたり、粘り強く筋道立てて答えを導き出すような学びに向かう姿勢を身に付けたりする必要があります。</p>	<p>○小数×整数、小数+小数の設問、直方体の見取り図をかく設問について、高い正答率でした。</p> <p>●3桁÷2桁、帯分数-真分数の計算問題では誤答が見られました。答えを出した後に確認する習慣をつけたり、復習の時間をとったりする必要があります。</p>	<p>○展開図を組み立ててできる立体の位置関係が分かり、分配法則を正しく理解していました。</p> <p>●重さの単位換算は、空位があると誤答につながっていました。億の十進位取り記数法に理解不足が見られました。</p>



今後の対応

- ・知識・理解の定着を図るために、授業で分かったこととできるようになったことを自分の言葉で振り返りまとめさせます。更に、家庭学習や自主学習により定着させるよう繰り返し練習させ習慣化させます。
- ・数学的な考え方が向上するように、式と答えを書くだけでなく、自分の言葉で解き方を説明したり、他の方法を見つけたりさせます。また、自分の考えと友達のことを比較して交流するような場を授業の中に位置づけます。

国語の全体概要

国語全体の正答率は全国や県の平均を上回りました。観点別でも「読む」と「書く」また「言語事項」では、県平均を大きく上回りました。一方、「話すこと・聞くこと」については、県平均をやや下回りました。

国語の分析結果と本校の課題について

話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項
<p>○話し手の意図をとらえながら聞き、自分の考えをまとめる設問について県平均を大きく上回りました。</p> <p>●インタビューをするにあたり、質問の内容が相手に伝わりにくいときは言い換えるなどの工夫を加える設問については課題が見られました。</p>	<p>○調査内容と結果から分かったことを根拠にしなが、自分の考えを述べる問題で県平均を大きく上回りました。</p> <p>●報告する文章を分かりやすくするために、筆者が取り入れた工夫をとらえる設問では、県平均を下回りました。</p>	<p>○資料をもとに、目的に応じて、読み取ったことを抜き出し、文章に表す設問で県平均を大きく上回りました。</p> <p>○目的に応じて文章全体を概観して効果的に読む問題でも高い正答率が得られました。</p>	<p>○熟語を正しく読んだり、書いたりすること、一文を接続詞を用いて二文に分ける問題で県平均を上回りました。</p> <p>●正しい送り仮名で書くことや同音異義語の設問では、県平均を下回りました。</p>

今後の対応

- ・この結果を踏まえて、「話す・聞く」については、相手意識をもって自分の言葉で伝える活動を授業や生活場面で増やしていきます。現在行っている委員会活動での放送や発表の際も独自性のある言葉を取り入れるよう働きかけていきます。
- ・「書くこと」については、説明文の学習で時数を制限して要約を書かせる活動を仕組んでいきます。
- ・分かりやすく伝えるための工夫に箇条書きを取り入れさせたり、内容を項目ごとに分けさせたりします。

算数の全体概要

算数全体の正答率は全国、県の平均を上回りました。また、各観点別では、「量と測定」と「図形」で県平均を大きく上回りました。また、「数量関係」では、やや上回りました。「数と計算」については、県平均とほぼ同程度でした。

算数の分析結果と本校の課題について

数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解
<p>○示された計算の仕方を理解し、モデルをもとに、除法に適用しながら記述する設問で県平均を上回りました。</p> <p>●示された計算の仕方を理解し、簡単な式にして答えを求める設問では県平均の正答率を下回りました。必要な情報を取り出すことに課題がみられました。</p>	<p>○図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成する設問では、県平均を大きく上回りました。</p> <p>●棒グラフから資料の傾向を読み取る問題で県平均の正答率を下回りました。</p>	<p>○示された除法の式の意味を理解し、いくつかの答えを選ぶ問題では県平均を上回りました。</p> <p>○台形についての理解については、県平均の正答率と同程度でした。</p>

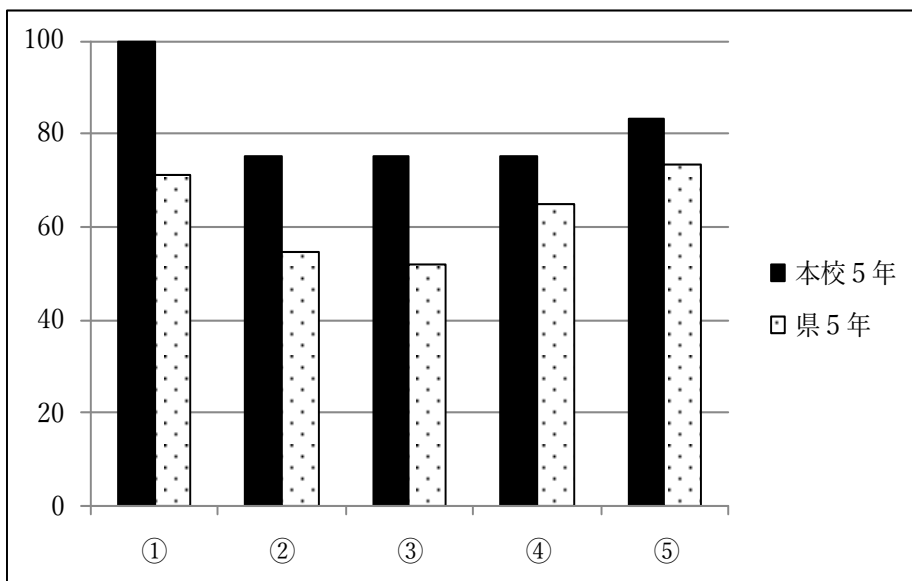
今後の対応

- ・自分の考えを言葉で書かせたり、図示したりさせながら思考の流れを分かりやすく記していくよう、ノート指導に力を入れます。板書をノートに書き写すときには、内容を理解しながら書くよう働きかけます。
- ・多くの情報の中から必要な情報を取り出す活動を日々の授業に取り入れていきます。
- ・図形の定義や公式など反復練習し、定着するようにします。
- ・図や表などの資料から必要な情報を読み取ったり、疑問を持ちながらみたりするよう意図的に仕組んだ授業をつくりまします。

5年生

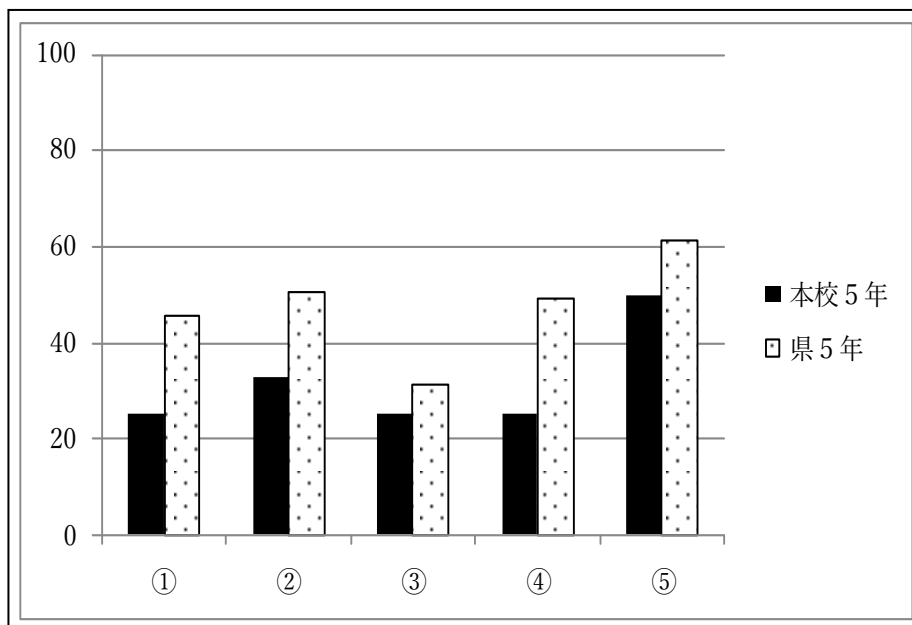
【数値が特に高かった項目】

	調査の項目
①	授業で学習したことは、将来社会に出たときに役に立つ。
②	読書は好きだ。
③	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つ。
④	普段（月曜日から金曜日）一日30分以内、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしている。
⑤	授業の中で目標（めあて、ねらい）が示されていると思う。



【数値が特に低かった項目】

	調査の項目
①	学校の授業の予習をしている。
②	テストで分からなかった問題や間違えた問題についてやり直しをしている。
③	自分で計画を立てて勉強している。
④	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができていると思う。
⑤	普段（月曜日～金曜日）10時までに寝ますか。



〈分析と取り組み〉

- 児童の意識調査で【数値が特に高かった項目】をみると、学習に対する意欲が高いことが分かります。また、小学校での学習が、将来社会に出たときに役に立つことも感じていました。今後は、【数値が特に低かった項目】でも肯定的な回答が得られるようにします。そのために、児童自身が自分の苦手な教科や単元を自覚し、計画立てて学習するよう、自主学習の参考例を示しながら工夫するよう、教師側から積極的に働きかけます。

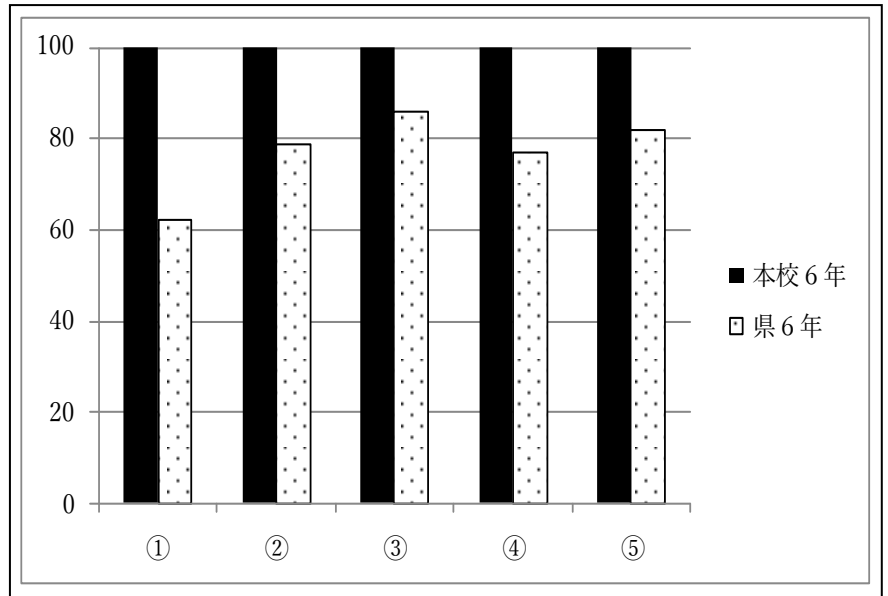
また、児童は、授業のめあてを意識して学習していることも分かりました。これは、昨年度学習状況調査結果分析後に職員共通で決定した「めあて、まとめを自分なりの言葉で表現させる」という取り組みが、児童にも浸透している結果と思われます。今後も継続して取り組み、更に伸ばしたいと考えています。

- 携帯電話やスマートフォンの所持率、メールなどについてたずねている項目では、携帯電話やスマートフォン所持率が低く、一日30分以内の使用にとどめている児童が多いことが分かりました。このことから、三里小学校で取り決めている「家庭学習の十ヶ条」テレビ、ゲーム、メール4ない（しない）運動を児童自身が素直に守っていることや家庭の協力が得られていることが想像できました。今後も家庭との連携を図りながら、「家庭教育指針振り返り週間」を含め、「家庭学習の十ヶ条」を推進していきます。

6年生

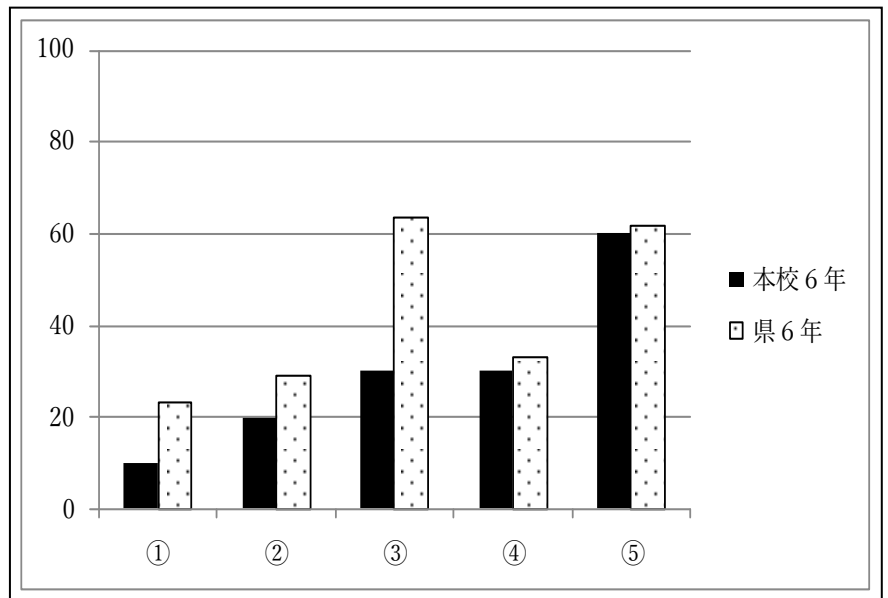
【数値が特に高かった項目】

	調査の項目
①	先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて分かるまで教えてくれていると思う。
②	ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある。
③	いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。
④	人の役に立つ人間になりたいと思う。
⑤	今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで書こうと努力した。



【数値が特に低かった項目】

	調査の項目
①	国語の授業は好きですか。
②	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思う。
③	授業でもっとコンピュータなどのICTを活用したいと思う。
④	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。
⑤	将来の夢や目標を持っている。



〈分析と取り組み〉

- ・ 児童の意識調査で【数値が特に高かった項目】をみると、自分自身の学習や生活について一生懸命努力する児童であることが分かりました。また無回答がなく、粘り強く取り組んだ様子がうかがえました。このように、一人一人の学習意欲が高いので、今後もこの学習意欲を維持することができるよう励まし賞賛していきます。
- ・ 数値が高かった項目から、計画を立てて学習する児童も多いことが分かりました。自主学習を工夫している様子もうかがえるため、自主学習コーナーで紹介することや図書館を利用して調べ学習をするよう促すこと、新聞を利用したりすることなど、更に自主学習の幅を広げられるように働きかけます。
- ・ 【数値が特に低かった項目】にICTへの関心度が含まれていたことから、今後は、プログラミング学習を積極的に取り入れるなどICTの利活用教育に力を入れていきます。
- ・ ものごとを最後までやり遂げてうれしかった経験があるものの、難しいことに、失敗を恐れなくて挑戦していく姿勢については否定的だったことから、今後も達成感を味わうことができる活動を取り入れ、失敗を恐れず挑戦する児童を育成していきます。